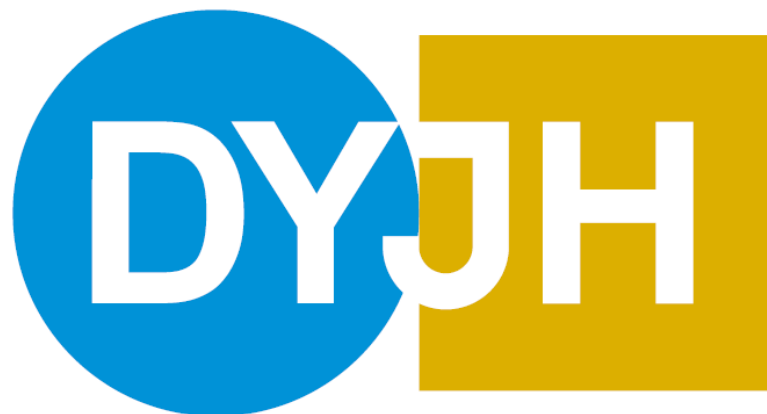




ダイナムジャパンホールディングス

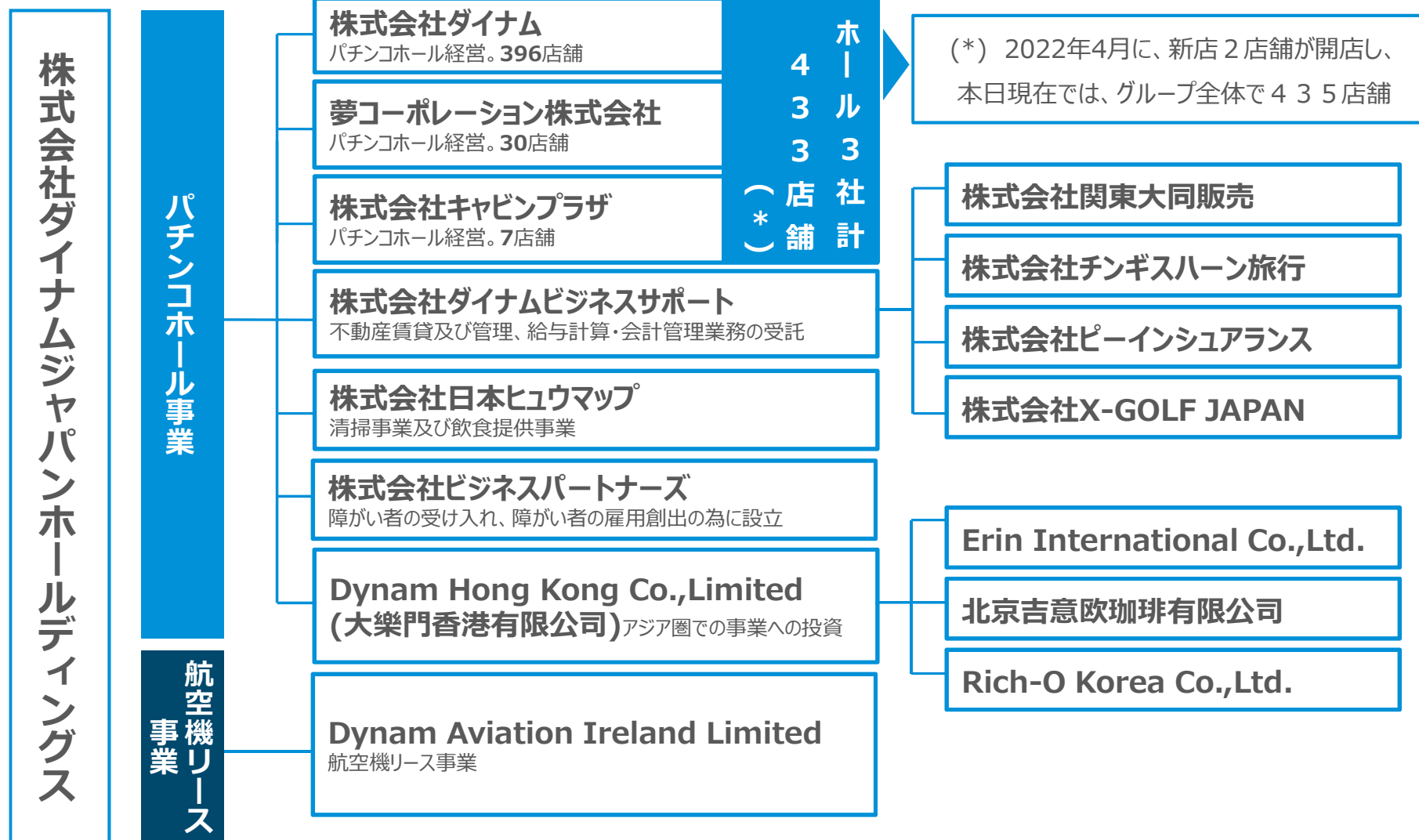
2022年3月期 決算説明会
(参考和訳)

2022年5月26日

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

DYJHグループ企業組織図（2022年3月31日現在）



【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）

（単位：百万円）

	当期	前期	増減	前期比
営業収入	105,141	98,602	+6,539	106.6%
営業費用	99,190	101,904	▲2,714	97.3%
営業利益	10,654	6,728	+3,926	158.4%
当期利益	4,977	2,351	+2,626	211.7%

前期の4月、5月に対応した業界挙げての店舗休業がなく、営業日数が増加したことから、営業収入は対前期比増収を確保するとともに、当期利益も増益で着地。

2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

（単位：百万円）

	当期	前期	増減	前期比	概要
営業収入	97,730	90,993	+6,737	107.4%	パチンコ稼働の回復を主要因に増収
機械関連費用	14,527	14,719	▲192	98.7%	当期より遊技機の平均使用期間が2年を超えている状況を踏まえ、購入時に費用処理する会計処理から固定資産に計上し、2年間で減価償却する方法に変更。その結果、機械関連費用は前期並みの実績。
人件費	36,428	38,084	▲1,656	95.7%	店舗運営人件費の削減
その他費用	41,029	40,712	+317	100.8%	広告宣伝費、遊技環境向上のための設備投資が増加
営業外損益	3,004	5,865	▲2,861	51.2%	国からの雇用調整助成金受取額の減少
経常利益	8,749	3,343	+5,406	261.7%	

※パチンコホール事業の中核会社（ダイナム）の日本基準での決算数値

2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

項目	当期	前期	増減	概要
店舗数	396店舗	401店舗	▲ 5 店舗	閉店：愛媛今治店、栃木小山喜沢店、都城店 信頼の森群馬太田店、太田店
パチンコ稼働率 (※①)	29.9%	28.2%	+1.8pt	競合店差+3.0pt (※②)
スロット稼働率 (※①)	24.1%	27.0%	▲ 2.8pt	競合店差▲1.8pt (※②)
設置台数	185,971台	187,843台	▲ 1,872台	設置台数業界シェア 4.9%
P B 機設置台数	19,840台	16,742台	+3,098台	設置割合15.2%（前期差+2.5pt）（※③）

※① 稼働率…ピーク時（15時及び19時平均）の[実客数／設置台数]2021年4月1日～2022年3月31日の平均

※② 競合店の数値は全国のダイナム店舗近隣に所在する1,200店舗に対して実施する客数調査をもとに算出

※③ 設置割合はパチンコ設置台数に対する割合

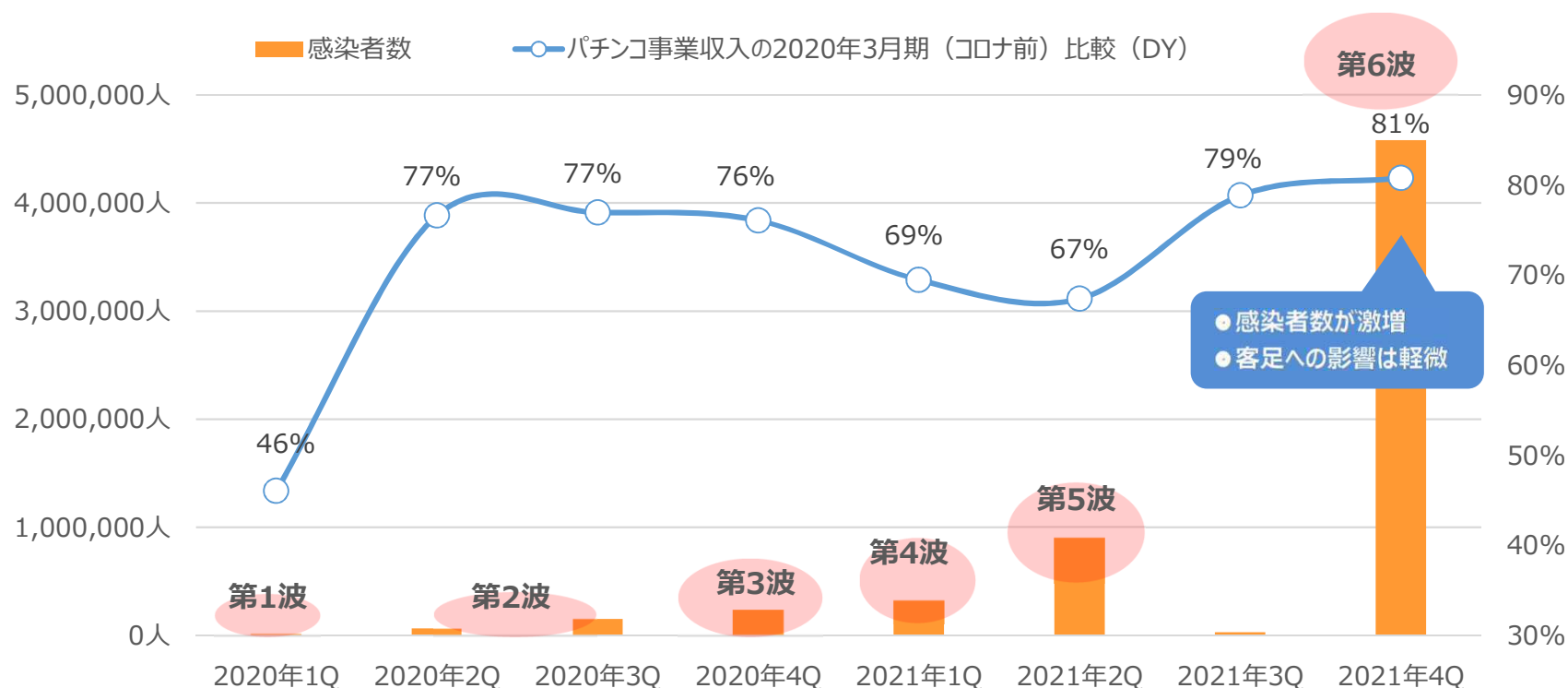
【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

3. パチンコホール事業の新型コロナウイルスへの対応

(1) コロナウイルスの感染状況とパチンコ事業収入の推移

- コロナ禍2年目を迎えた中、感染拡大に対して緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発令されるなど、年間を通して経済活動が大きく制限された。
- 第4四半期には最も感染が拡大したが、パチンコ事業収入への影響は軽微となっており、今後のWITHコロナに向けた「兆し」がうかがえる。



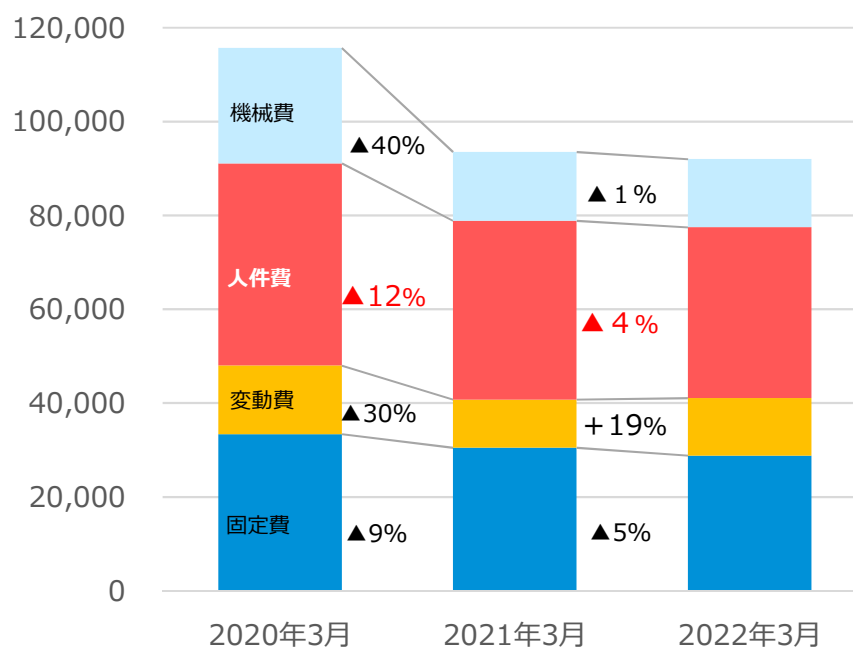
3. パチンコホール事業の新型コロナウイルスへの対応

(2) パチンコ事業収入の減少に対する対応

- 販促活動を強化するとともに、遊技環境を向上させるための投資を再開。
- 安定した利益を確保するために、ローコストオペレーションモデルを再構築し、人件費を抑制。

経費構造の変化 (DY数値)

(単位: 百万円)



今後の成長戦略

脱コロナ・成長戦略に向けて
「守り」の営業から転換

売上の回復に向けて、集客に繋がる
投資を拡大

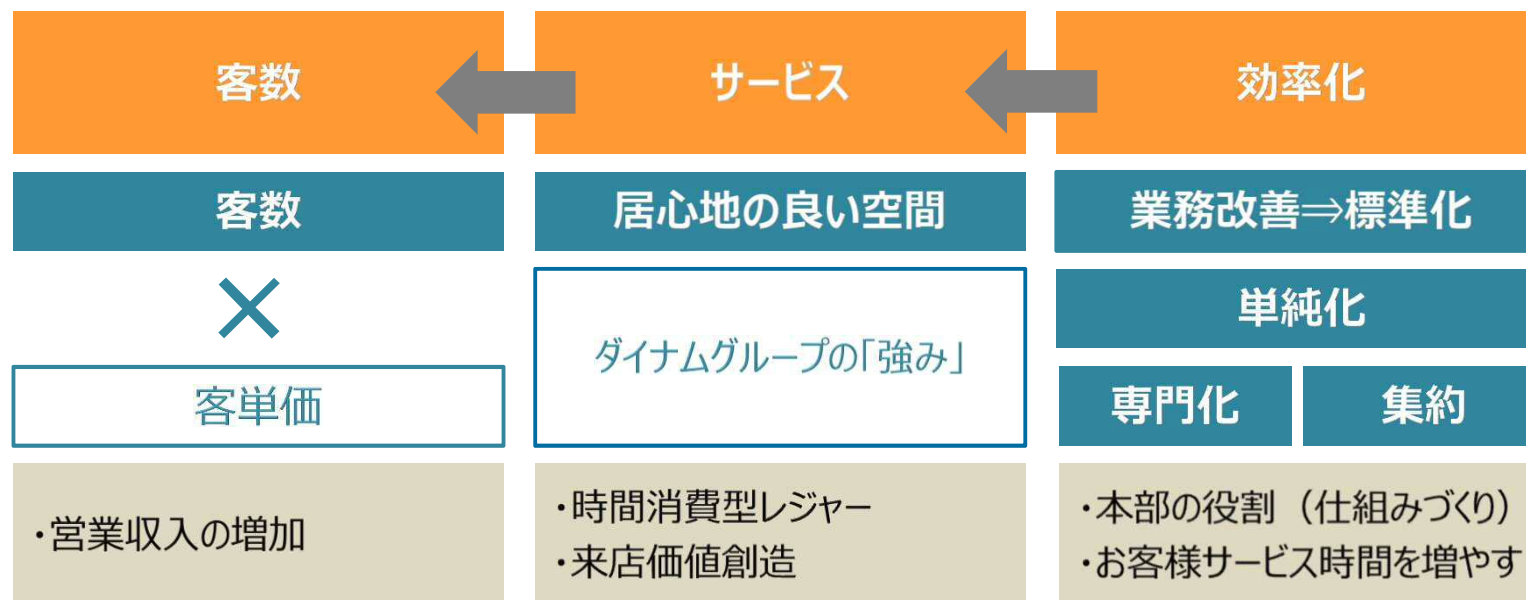
パチンコ事業収入の回復に向け
客数をV字回復

3. パチンコホール事業の新型コロナウイルスへの対応

(3) 客数回復に向けての施策

- 客数増加に向け営業施策、販売促進、遊技環境改善に対する積極投資を開始。
- お客様へのサービス品質を向上させるための教育プログラム、品質管理方法の再構築。
- 更なるチェーンストア経営の推進に向け、業務改善及び標準化を加速。

<客数回復シナリオ>

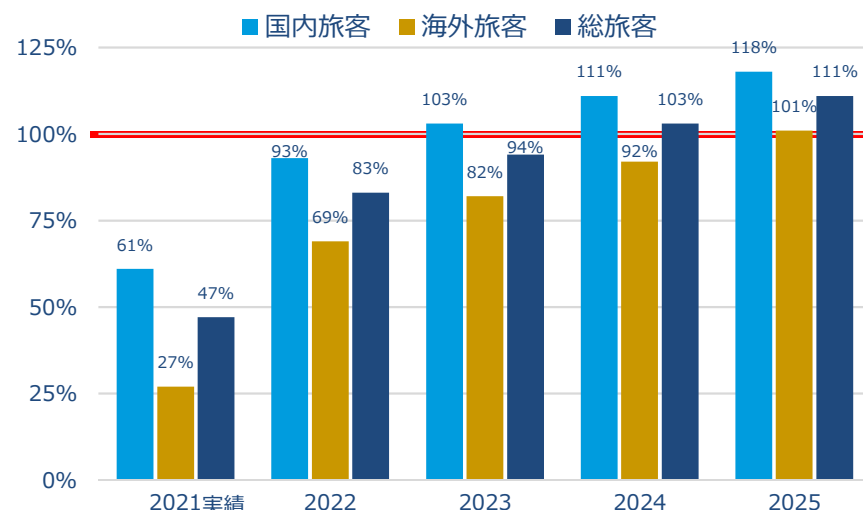


【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

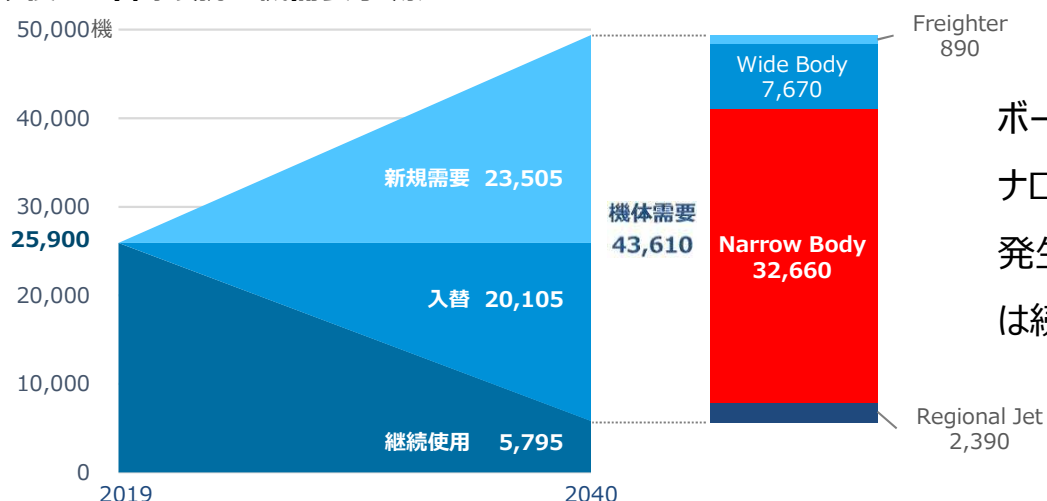
4. 航空機リース事業

＜今後の旅客数予測（2019年基準）＞ IATA報道発表資料より



IATA（国際航空運航協会）によると、欧米の国内線を中心とした渡航制限の段階的な撤廃が旅客需要を後押ししており、総旅客数が2019年水準に戻るの2024年と予測。

＜今後20年間の航空機需要予測＞ 「Boeing Commercial Market Outlook2021-2040」資料より



ボーイング社のマーケット見通しによると、2040年までにナローボディ機を中心に43,610機の新規機体の需要が発生すると見込まれており、世界の航空機需要の拡大は続くと予想。

4. 航空機リース事業

■当期末の状況



■ Wizz Airとのセールアンドリースバック（SLB）取引について

- ・2021年10月、ハンガリーのLCC Wizz Airと航空機3機をSLB取引により購入する契約を締結。
- ・機体は2022年6月-9月にかけて順次引き渡しの予定。

4. その他事業～カジノ向けビデオスロットの開発～

■マカオ市場

(単位：億円)

	2021年					2022年			
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	年計	1月	2月	3月	4月
総粗利	3,428	3,680	2,721	2,766	12,595	920	1,125	532	388
前年比	78%	785%	384%	87%	144%	79%	106%	44%	32%
コロナ前 2019年比	31%	35%	27%	26%	30%	25%	31%	14%	11%

1MOP = 14.50円で算出

出典：DICJホームページ（マカオゲーミング管理部門）ゲーミングの月間総粗利の数値を基に作成

2021年のカジノ総粗利はコロナ前と比較し約30%と回復は遅れており、その後も中国本土での感染拡大等で回復は停滞。
 カジノオペレーターとは定期的なコンタクトを取っており、2022年後半には一定水準までの回復を見込む。
 ⇒トライアルを含めたビデオスロットの販売活動再開に向けた準備を開始。

■活動計画

ビデオスロットについてはマカオで6機種、シンガポールで5機種の認可を取得済。

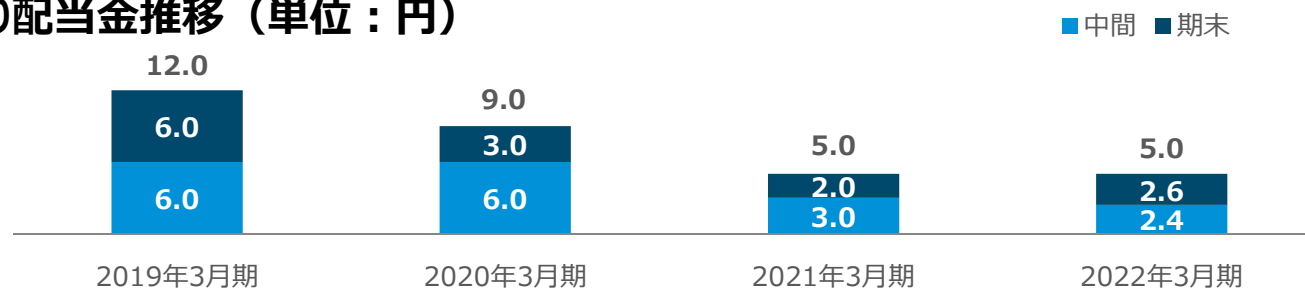
マカオ市場の回復は2022年後半を想定しており、今後はアジア圏で市場回復が進んでいる地域を中心に販売活動を計画。

期末配当金 1株当たり配当金2.6円

■ 配当額

	期末配当	中間配当	年間配当
配当基準日	2022年6月6日	2021年12月13日	—
1株当たり配当金	2.6円	2.4円	5.0円
配当金総額	1,878百万円	1,756百万円	3,634百万円
配当金支払日	2022年6月24日	2022年1月12日	—

■ 1株当たり配当金推移（単位：円）



（参考）当期において、自己株式 30,135,800株（発行済株式の約4.0%）の市場買付を実施するとともに、29,838,400株を消却いたしました。その結果、期末日に保有する自己株式は297,400株となっております。

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

5. 財務概況



連結損益計算書 (IFRS)

(単位：百万円)

	当期 (2022/3)	前期 (2021/3)	増減	補足説明
営業収入	105,141	98,602	+6,539	
パチンコ事業収入	103,588	97,141	+6,447	高貸玉店舗 51,293(+3,638) 低貸玉店舗 52,295(+2,809)
航空機リース事業収入	1,553	1,461	+92	
パチンコ事業費用	93,950	96,673	▲2,723	店舗運営人件費の減少 ▲1,746
航空機リース事業費用	961	891	+70	
一般管理費	4,279	4,340	▲61	パチンコ事業、航空機リース事業以外の会社運営経費
その他収入	9,114	11,561	▲2,447	雇用調整助成金受取額の減少 ▲3,088(5,544→2,456)
その他費用	4,411	1,531	+2,880	店舗減損損失の増加 +2,215(215→2,430)
営業利益	10,654	6,728	+3,926	
金融収益	426	286	+140	
金融費用	2,571	2,672	▲101	
税引前当期利益	8,509	4,342	+4,167	
当期利益	4,977	2,351	+2,626	
EBITDA	19,709	16,781	+2,928	

(注) EBITDA は、当期利益に金融費用、税金、減価償却費(遊技機償却費及び使用権資産償却費を除く)、為替差損益を加えて計算しております。

5. 財務概況



連結財政状態計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	当期末 (2022/3)	前期末 (2021/3)	増減	当期末の主な内訳・前期からの増減等			
				科目	当期末	前期末	増減
資産合計	293,421	301,073	▲7,652	有形固定資産	118,648	96,415	+22,233
				使用権資産	73,850	77,537	▲3,687
				現金及び現金同等物	56,508	74,661	▲18,153
				繰延税金資産	10,964	13,412	▲2,448
				リース債権	8,460	7,282	+1,178
負債合計	162,439	169,101	▲6,662	リース負債	89,262	91,939	▲2,677
				未払金・未払費用	12,312	19,997	▲7,685
				有利子負債	43,141	33,967	+9,174
資本金	15,000	15,000	-				
剰余金等	115,982	116,972	▲990	当期利益	4,997	2,363	+2,634
				前期配当支払額	▲3,261	▲4,576	+1,315
				自己株式の取得	▲3,187	▲1,437	▲1,750
				その他の包括利益等	461	890	▲429
資本合計	130,982	131,972	▲990	連結自己資本比率	44.6%	43.8%	+0.8
負債及び資本合計	293,421	301,073	▲7,652				

連結有利子負債及び自己資本比率（IFRS）

（単位：百万円）

【連結有利子負債】

	当期末 (2022/3)	比率	前期末 (2021/3)	比率
現金及び現金同等物	56,508	19.3%	74,661	24.8%
有利子負債(パチンコ事業)	32,945	11.2%	23,629	7.8%
有利子負債(航空機リース事業)	10,196	3.5%	10,338	3.4%
ネットキャッシュ	13,367	4.6%	40,694	13.6%
資産合計	293,421	100.0%	301,073	100.0%

前期に申請した納税猶予分の支払実施及び遊技機投資に伴い、ネットキャッシュは27,327百万円減少。

【連結自己資本比率】

	当期末 (2022/3)	比率	前期末 (2021/3)	比率
資本金	15,000	5.1%	15,000	5.0%
剰余金等	115,982	39.5%	116,972	38.9%
純資産	130,982	44.6%	131,972	43.8%
資産合計	293,421	100.0%	301,073	100.0%

基幹会社ダイナムの概況（日本基準で決算実施）

（単位：百万円）

	当期 (2022/3)	前期 (2021/3)	増減	補足説明
遊技業収入	94,688	88,055	+6,633	前年比増減 P : +8,605 S : ▲1,972
自販機手数料収入	3,041	2,937	+104	
販売費及び一般管理費	91,984	93,515	▲1,531	人件費▲1,656 変動費+1,965 固定費▲1,648
営業利益	5,745	▲2,521	+8,266	
経常利益	8,749	3,343	+5,406	
特別利益	0	1	▲1	
特別損失	1,276	384	+892	当期内訳：固定資産除却損252、店舗減損損失999
当期利益	4,892	1,782	+3,110	
	当期末 (2022/3)	前期末 (2021/3)	増減	補足説明
総資産	124,928	140,999	▲16,071	流動資産▲33,744 固定資産+17,673
負債	36,678	54,542	▲17,864	借入金▲4,970 税金延納分納付▲10,033
純資産	88,250	86,457	+1,793	当期利益4,892、親会社への配当支払▲3,092
自己資本比率	70.6%	61.3%	+9.3	

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報につきましては開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い致します。

なお、いかなる目的であっても、当社の事前の同意がない限り、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

(株) ダイナムジャパンホールディングス 財務・広報グループ

mail : info@dyjh.co.jp